

# 55・10ダイヤ改提案される!



80.7.3  
No. 472

国鉄千葉動力車労働組合  
千葉市要町二一八(動力車会館)  
(鉄電)二二五八・九(公衆)四三三三・二七二〇七

## 根拠のない列車削減、35万人体制に基づく施策に激しい怒り!

五五・一〇ダイヤ改については、五月二十七日の交渉において全国計画・千葉局計画一括提案される予定であったが、提案途中において燃料列車の昼間帯移行問題及び当初の事前説明の内容と全く異なる内容であったことに対し、抗議し交渉を打ち切り今日に至っていた。七月一日、再開された五五・一〇ダイヤ改に係る交渉席上、国鉄当局は次の内容の計画概要を提案してきた。

それは、①旅客関係は、総武・横須賀の直通運転と、管内快速の十五両化による輸送力増強を主体としたものであり、②貨物関係は、大幅な列車削減、ヤード作業の見直しを中心に輸送の効率化を図るといったものであった。

### 当局提案内容

1. 実施期日 五五年十月一日
2. 主な実施項目
  - 〔旅客関係〕
    - (1) 総武快速線と横須賀線の直通運転を開始する。
    - (2) 快速列車の十五両化と、ピーク時に津田沼〜東京間一往復増発する。
    - (3) 総武・横須賀スルーに伴い、グリーン車二両が連結となる。
    - (4) 総武本線朝ラッシュ時に、千葉〜四街道間一往復増発する。
    - (5) 内房線快速列車の木更津快速六往復のうち君津へ三往復延長する。
    - (6) 中央総武緩行線のデパートタイム輸送力の見直しを行う。
    - (7) 一部列車の接線見直しを行う。
    - (8) 津田沼車両の滞泊変更に伴い、津田沼〜幕張間列車キロの削減と臨回列車の増発を行う。
  - 〔保守関係〕
    - 内房線、外房線に昼間線路保守のための間合(約六十分)を設定、輸送基盤の整備を図る。
  - 〔貨物関係〕
    - (1) 輸送効率の向上、改善に向けて管内定期・臨時列車を二十本削減、これにより乗務員仕業の見直しを行う。
    - (2) ヤード及び駅の作業体制、勤務形態の見直し等を図る。
    - (3) 石炭輸送列車を新設する。
    - (4) 五五七〇列車(燃料)の設定時刻を昼間帯に移行する。
    - (5) 列車削減による、機関車運用の廃止に伴う検査要員の見直しを行う。

3. 列車キロ  
五五・一〇ダイヤ改による列車増減キロは次のとおりとなる。

種別	旅客関係	貨物関係	総計
増減	△一五四四	△五六二一	△七一六六
54・10	五七四〇八六	五〇七〇一	六二四七八八
55・10	五七二五四二	四五〇八〇	六一七六三二

※臨時貨物列車については△一五六・四キロ

4. 要員関係

種別	区名	機関士	電連士	検修	構内
新小岩		△17		△2	
幕張			2	△2	
津田沼			△3	△19	△3
蘇我		△3			
千葉転			△2		
勝浦		△1	3		
佐倉		△15		△4	
成田		△3			
局(増減)計		△39	0	△27	△3

※作業ダイヤについては別途提示

### 明確な国鉄「再建」のための人べらし大合理化!

動労千葉は、この交渉に全支部長の参加をもって臨んだ。

当局側の提案に対し、①五五・一〇ダイヤ改は、明確な国鉄「再建」・三十五万人体制に基づく初年度としての攻撃であり、単なる輸送「改善」ではなく、計画そのものを認める訳にはゆかない。②貨物削減にしても、駅・ヤードの作業・勤務体制の変更(人べらし)を基本とした列車削減に他ならない。根拠のない列車削減はもとより、労働条件の悪化は容認出来ない。③今時ダイヤ改が企業責任を一切放棄し、その責任を労働者に転嫁してくる以上、重大な決意をもって闘うことを当局に強く申入れ交渉を打ち切った。